

三宅島緑化に伴う種子採集・保管

■背景

2000年に始まった三宅島雄山の噴火により、大量の火山灰を噴出した。これにより島の中腹以上の植生全体が大打撃を受けた。陸続きになったことのない三宅島は、独自の生態系が形成されているため、緑化による外来種の導入が三宅島独自の生態系を変化させる危険性があった。そのため自生種による緑化の試みが実施された。採取樹種は、オオバヤシャブシ、ハチジョウススキ、ハチジョウイタドリである。

■発注先

東京都

■受注先

紅大貿易(株)

■事業期間

平成13年10月～平成14年3月

■状況写真



写真-5 ハチジョウススキ採取場所



写真-6 ハチジョウイタドリ乾燥状況



写真-7 ハチジョウススキ精選状況